

父子家庭アンケート

NPO 法人サステナブルネット

平成26年8月調査

協力 浜松市 掛川市 菊川市 静岡大学情報学部笹原研究室

26年度 JT NPO助成事業「地域でも当事者による、ひとり親家庭支援」

父子家庭の実態

今回、浜松市・掛川市・菊川市の協力の下、26年8月の児童扶養手当の現況届時に父子家庭の父親にアンケートを配布。330通を預け、父子家庭に渡すことができたアンケートの総数205通、回収数76通。回収率37%。民間のNPOのアンケートとしては回収率が高かったと思われます。

弱音を吐けないという男性特有の事情があるなか、父子家庭の実情を知ってほしい当事者の声が聞けて貴重な資料となりました。

対象が児童扶養手当の受給に関する方のため、父子家庭全体の意見ではありませんが、生きづらさ、孤立、閉塞感は充分伝わりました。

まず、重要な結果として、37%のお父さん達が健康上に問題を抱えている事実が浮かびました。仕事と家事に追われる中、健康管理がおろそかになっていると想像されます。また「働いても、働いても生活が楽にならない」「仕事と子育てと精一杯で、心身ともに余裕がない」という問いに肯定的な回答は65%にのぼり、張り詰めた糸が何時切れるかわからない状態を表しています。一家の大黒柱が病気になって収入が途切れれば生活保護の受給の対象になる可能性も感じられます。弱音を吐けない、ひとりで抱え込む、結果が出る相談を望む、など男性特有の気質が我慢して耐えることに自ら強いているのではないかと思います。

そのような「社会的孤立」のなかで有益な情報も伝わっていない様子も伺えます。児童扶養手当の制度は知っていても母子家庭等医療費助成制度の知らなかった方は15人にのぼります。その人たちの何人かは受給の対象になったかもしれませんが、他の助成や支援はほとんど使われたことが無く、これらの制度の説明を受ける機会の必要性を感じました。養育費ももらっている家庭も76人中3人であり、収入の機会が限られてしまいます。

また重要だと考える相談や情報提供の内容は？という問いの中で多い順番で1、手当て助成 2、学習支援 3、相談事業とあります。特に相談相手には当事者による相談がいちばん多く選ばれています。当団体でもこれらの事業を優先的に進めていく予定です。

たとえひとり親家庭であっても子ども達には平等な生活環境が必要です。社会が子どもを育てるという認識を広く得るためにも、今一度、父子家庭のお父さんはその現状を社会に向けて発信する必要があるのではないかと思います。

父子家庭アンケート

NPO法人サステナブルネット 平成 26 年 8 月実施

あなた自身とご家族についておたずねします。

問1 年齢はおいくつですか(あてはまるもの1つに○)

年齢	実数	%
1.20才未満	1	1.3%
2.20～24才	1	1.3%
3.25～29才	1	1.3%
4.30～34才	6	7.9%
5.35～39才	15	19.7%
6.40～44才	22	28.9%
7.45～49才	12	15.8%
8.50～54才	11	14.5%
9.55～59才	7	9.2%
10.60才以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	76	100.0%

40歳台のお父さんが多く
55歳以上の方も7人
高齢時の負担が懸念

問2 家族構成(同居)についてお答えください(あてはまるもの1つに○)。

年齢	実数	%
1.自分と子ども	35	46.1%
2.自分と子どもと自分の両親	22	28.9%
3.自分と子どもと自分の父 or 母	15	19.7%
4.その他	3	3.9%
無回答	1	1.3%
合計	76	100.0%

親との同居が多いといわれていた父子家庭、
46%と半数近くが単独世帯

問 2-2 家族構成(その他の内容)

自分と子どもと自分の母と自分の兄と兄嫁
自分と子どもと自分の両親、妹弟と甥っ子
自分と子どもと自分の母と姉

問3【同居していないお子さんも含めてお答えください】。お子さんは、何人いらっしゃいますか。
(1つに○)

子どもの数	実数	%
1人	26	34.2%
2人	41	53.9%
3人	5	6.6%
4人	2	2.6%
5人以上	2	2.6%
無回答	0	0.0%
合計	76	100.0%

問4【同居しているお子さんについてのみお答えください】

学齢別にお子さんの数を教えてください(それぞれあてはまるもの1つに○)

子ども数総計

子どもの数	実数	%
1人	26	34.2%
2人	41	53.9%
3人	5	6.6%
4人	2	2.6%
5人以上	2	2.6%
無回答	0	0.0%
合計	76	100.0%

年齢別子どもの数 1)就学前

就学前子ども数	実数	%
0人	60	78.9%
1人	13	17.1%
2人	2	2.6%
3人以上	0	0.0%
無回答	1	1.3%
合計	76	100.0%

年齢別子どもの数 2)小学生

小学生の子ども数	実数	%
0人	46	60.5%
1人	26	34.2%
2人	3	3.9%
3人以上	1	1.3%
無回答	0	0.0%
合計	76	100.0%

年齢別子どもの数 3)中学生

中学生の子ども数	実数	%
0人	41	53.9%
1人	29	38.2%
2人	5	6.6%
3人以上	0	0.0%
無回答	1	1.3%
合計	76	100.0%

年齢別子どもの数 4)高校生

高校生の子ども数	実数	%
0人	53	69.7%
1人	18	23.7%
2人	4	5.3%
3人以上	0	0.0%
無回答	1	1.3%
合計	76	100.0%

年齢別子どもの数 5)学業終了

学業終了子ども数	実数	%
0人	67	88.2%
1人	8	10.5%
2人	0	0.0%
3人以上	0	0.0%
無回答	1	1.3%
合計	76	100.0%

SQ1 そのお子さんは仕事をしていますか？あてはまるところに人数を書きこんでください。

問 4SQ1.2.3 仕事をしている子ども

仕事をしている子	人数
仕事をしている	4
仕事を探している	1
その他	5
合計	10

学業終了後の子どもの半数が
仕事をしていない状況

問5 【現在、就学前のお子さんがいる方だけお答えください】

いま現在、お子さんの日中の世話は、どなたがしていますか。1つだけ選んでお答えください。

世話をしている人	実数	%
自身	4	21.1%
同居の親	4	21.1%
同居していない親	1	5.3%
親以外の親戚	0	0.0%
保育所・託児所	5	26.3%
幼稚園	4	21.1%
友人・知人	0	0.0%
近所の人	0	0.0%
子どもだけ	1	5.3%
他方の親	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	19	100.0%

父親自身が世話をしているのは、無職が考えられる。

子どもだけの家庭もあり安全面が懸念される。

問6 小学校低学年(3年生まで)のお子さんがいる方だけお答えください。いま現在、小学校低学年のお子さんの放課後の世話は、どなたがしていますか。1つだけ選んでお答えください。

世話をしている人	実数	%
自身	1	4.2%
同居の親	11	45.8%
同居していない親	0	0.0%
親以外の親戚	0	0.0%
保育所・託児所	10	41.7%
幼稚園	0	0.0%
友人・知人	0	0.0%
近所の人	1	4.2%
子どもだけ	1	4.2%
他方の親	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	24	100.0%

学童保育が4割に留まり、他の方に利用されていないのは？

問7【同居しているお子さん・別居しているお子さんにかかわらずお答え下さい】。

高校卒業後に進学されているお子さんは何人いますか

(現在在学中も含む(あてはまるものにいくつでも〇))

進学先	実数	/8
四年制大学	3	37.5%
専門学校	0	0.0%
進学していない	2	25.0%
その他	1	12.5%

問 8 あなたが現在、悩んでいることについてあてはまるものがありましたら、○をつけて下さい。

悩みの内容	実数	%
経済的なこと	48	63.2%
子どもの養育・教育のこと	37	48.7%
自分自身の仕事のこと	25	32.9%
自分の健康のこと	21	27.6%
相談相手がないこと	11	14.5%
特にない	9	11.8%
近所づきあいのこと	7	9.2%
住居のこと	6	7.9%
家族・親族との関係のこと	4	5.3%
その他	2	2.6%

経済的な悩みが多く
健康上の悩みが少なくないの
は、日常の負担が大きい。

問 9 あなたが現在、悩んでいることについて、どのような人に相談相手になってほしいと思いますか。

相談相手	実数	%
家族・親族	17	22.4%
友人・知人	19	25.0%
近所の人	2	2.6%
保育園・幼稚園・学校の先生	5	6.6%
公共機関の職員等	12	15.8%
ひとり親家庭の人	20	26.3%
弁護士・専門家	7	9.2%
特に必要ない	14	18.4%
その他	4	5.3%

当事者に相談したい回答が
いちばん多い。

問 10 ひとり親家庭(父子世帯)になった時、あなたの年齢はおいくつでしたか(あてはまるもの一つに○)

ひとり親になった年齢	実数	%
20才未満	0	0.0%
20～24才	2	2.6%
25～29才	9	11.8%
30～34才	14	18.4%
35～39才	24	31.6%
40～44才	13	17.1%
45～49才	10	13.2%
50才以上	1	1.3%
無回答	3	3.9%
合計	76	100.0%

ひとり親家庭になった理由等についておたずねします。

問11 ひとり親家庭になったために、生活・経済的に困ったことにいくつでも○をつけてください(○はいくつでも)。

困ったこと	実数	%
住宅	7	9.2%
収入	44	57.9%
子育て	48	63.2%
その他	7	9.2%

問12 あなたがひとり親家庭(父子)となった理由は、次のうちどれにあたりますか(○は1つ)

ひとり親になった理由	実数	%
離別	65	85.5%
死別	6	7.9%
未婚	0	0.0%
その他	1	1.3%
無回答	4	5.3%
合計	76	100.0%

問13 【問12で1 離別(離婚)と答えた方におたずねします】

離婚にあたって誰かに相談したり、家庭裁判所(調停)を利用したりしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください(○はいくつでも)。

相談相手・調停	実数	%
自分の親	34	44.7%
きょうだい	10	13.2%
親戚	2	2.6%
妻の親やきょうだいなど	14	18.4%
友人・知人	14	18.4%
職場の同僚や友人	5	6.6%
子どもを通して知り合った友人・知人	3	3.9%
行政機関	4	5.3%
NPO	1	1.3%
弁護士	13	17.1%
家庭裁判所	16	21.1%
その他	1	1.3%
相談しなかった	14	18.4%
無回答	4	5.3%

問14 離婚のとき、財産分与はありましたか(〇はいくつでも)

財産分与	実数	%
あった	5	6.6%
なかった	30	39.5%
財産がなかった	23	30.3%
借金	15	19.7%
無回答	1	1.3%
	74	

問15 離婚の際、あなたは養育費の取り決めをしましたか？(〇は1つ)

養育費	実数	%
文書を交わして、取り決めた	15	19.7%
文書は交わしていない	7	9.2%
取り決めをしていない	37	48.7%
その他	6	7.9%
無回答	4	5.3%
非該当	7	9.2%
合計	76	100.0%

SQ1 取り決めをしなかった理由は何ですか。 主なものを1つだけ選んでお答えください。

取り決めをしない理由	実数	%
話し合いを持ちたくない(持てない)	12	26.1%
相手に支払う意思や能力がない	23	50.0%
請求できると思わなかった	5	10.9%
それぞれで分担	3	6.5%
まとまらなかった	0	0.0%
現在交渉中	1	2.2%
無回答	2	4.3%
合計	46	100.0%

問15で養育費の取り決めを22人がしているが
問17でそのうち実際に受け取っているのは3人。

問16 離婚の際、あなたは養育費の取り決めについて誰かに相談しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください(○はいくつでも)。

相談した相手	実数	%
自分の親	7	9.2%
きょうだい	4	5.3%
親戚	1	1.3%
妻の親やきょうだいなど	1	1.3%
友人・知人	1	1.3%
職場の同僚・友人	0	0.0%
子どもを通して知り合った友人・知人	0	0.0%
行政機関	2	2.6%
NPO	0	0.0%
弁護士	9	11.8%
家庭裁判所	11	14.5%
区役所等の窓口・母子婦人相談員	0	0.0%
母子寡婦センター相談窓口	0	0.0%
その他	2	2.6%
相談しなかった	39	51.3%

問17 あなたは、養育費、教育費を受け取って/送っていますか？ 下記のうち、あてはまるものはいくつでも○をつけてください(○はいくつでも)

	実数	%
現在も定期的に受け取っている	3	3.9%
現在も定期的に送っている	2	2.6%
現在も不定期に受け取っている	0	0.0%
現在も不定期に送っている	2	2.6%
現在は受け取っていない	5	6.6%
現在は送っていない	2	2.6%
受け取ったことがない	52	68.4%
送ったことがない	13	17.1%
その他	1	1.3%

養育費を送っている回答者は子ども達を父親、母親と別々に引き取っていると推測。

問18 養育費を受け取った/送っていた方にお尋ねします。養育費の額はいくらですか(いくらでしたか)。子どもさんお一人あたりの月額でお答えください(○は1つ)

養育費の額	実数	%
1万円未満	2	15.4%
1万円から2万円未満	2	15.4%
2～3万円未満	4	30.8%
3～5万円	4	30.8%
5万円以上	1	7.7%
子供の成長により変動	0	0.0%
合計	13	100.0%

あなたのお住まいについてお聞きます。

問 19 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか(○は1つ)

住まい	実数	%
持家	33	43.4%
借家・アパート・賃貸マンション	18	23.7%
公営住宅	3	3.9%
両親などの家に同居	19	25.0%
その他	1	1.3%
無回答	2	2.6%
合計	76	100.0%

持ち家の方が多く
それだけ住宅ローンを抱えている
可能性あり。

問 20 【問 19 で2.又は3.に○をつけた方だけお答えください】
現在の一カ月の家賃はどのくらいですか(○は1つ)

家賃	実数	%
20,000 円未満	3	12.5%
20,000～25,000 円未満	2	8.3%
25,000～30,000 円未満	0	0.0%
30,000～35,000 円未満	1	4.2%
35,000～40,000 円未満	0	0.0%
40,000～45,000 円未満	1	4.2%
45,000～50,000 円未満	2	8.3%
50,000～55,000 円未満	3	12.5%
55,000～60,000 円未満	1	4.2%
60,000 円以上	9	37.5%
無回答	2	8.3%
合計	24	100.0%

問 21 あなたは、現在のお住まいから、転居したいと考えていますか。

転居を考えているか	実数	%
したい	14	18.4%
考えていない	56	73.7%
無回答	6	7.9%
合計	76	100.0%

SQ1「転居したいと考えている」とお答えした方におたずねします。その理由は何ですか。1つだけ選んでお答えください。

転居を考える理由	実数	%
家賃が高い	8	57.1%
家が狭い	0	0.0%
仕事の都合	0	0.0%
周囲の環境	1	7.1%
建物が古い	1	7.1%
子どもの学校関係	3	21.4%
その他	1	7.1%
合計	14	100.0%

SQ2「転居したいと考えている」とお答えした方におたずねします。希望のお住まいは、次のうちどちらになりますか。1つだけ選んでお答えください。

希望の住まい	実数	%
持家	3	21.4%
借家・アパート・賃貸マンション	6	42.9%
公営	5	35.7%
同居	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	14	100.0%

現在のお仕事についておたずねします。

問 22 あなたは現在働いていますか。

働いているか	実数	%
働いている	70	92.1%
働いていない	4	5.3%
無回答	2	2.6%
合計	76	100.0%

問 23 【問 22 で「働いている」と回答した方におたずねします】

雇用形態は次のどれになりますか。もっとも近いものを1つだけ選んでお答え下さい(○は1つ)。

雇用形態	実数	%
正社員・正職員	49	68.1%
自営業	13	18.1%
臨時	8	11.1%
日雇	0	0.0%
内職	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	2	2.8%
合計	72	100.0%

正社員率は68%と高い。
自営業の率が高い。

問 24 あなたの現在の仕事は次のどれにあたりますか。主なものを1つだけ選んでお答えください(○は1つ)。

現在の仕事	実数	%
専門的・技術的	4	5.6%
管理的職業	4	5.6%
事務	5	6.9%
店員	3	4.2%
営業・セールス	4	5.6%
運輸・通信	6	8.3%
農林水産業	3	4.2%
製造・建築	29	40.3%
理容・美容・調理	1	1.4%
飲食業	2	2.8%
その他	8	11.1%
無回答	3	4.2%
合計	72	100.0%

土地柄か製造業が多い。

問 25 仕事の終了時間は、何時ですか。もっとも近いもの1つだけ選んでお答えください。

時間	実数	%
9:00～11:59	3	3.9%
12:00～15:59	1	1.3%
16:00～18:59	50	65.8%
22:00～翌日 8:00	5	6.6%
決まっていない	10	13.2%
無回答	3	3.9%
非該当	4	5.3%
合計	76	100.0%

問26 現在のお仕事は、どのようにして見つけれましたか。もっとも近いものを1つだけ選んでお答えください。

	実数	%
ハローワーク	19	25.0%
新聞広告	2	2.6%
アルバイト情報誌など	13	17.1%
友人・知人の紹介	15	19.7%
親・親戚の紹介	5	6.6%
学校の紹介	1	1.3%
家業を継いだ	7	9.2%
その他	8	10.5%
無回答	2	2.6%
非該当	4	5.3%
合計	76	100.0%

問27 あなたは、現在2つ以上の仕事をされていますか。

数	実数	%
仕事は1つ	60	78.9%
仕事は2つ上	9	11.8%
無回答	3	3.9%
非該当	4	5.3%
合計	76	100.0%

問28 現在の仕事について、悩みや不満がありますか？下記のうちあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

	実数	%
特に悩みや不安はない	8	10.5%
朝が早い	7	9.2%
帰りが遅い	6	7.9%
通勤時間が長い	2	2.6%
勤務時間が長い	5	6.6%
夜勤や交替勤務がある	5	6.6%
残業が多い	5	6.6%
休みが取りにくい	14	18.4%
収入が少ない	43	56.6%
資格が活かさない	1	1.3%
雇用な身分が不安定	7	9.2%
昇給・昇進が遅い	10	13.2%
仕事の内容	8	10.5%
職場の人間関係	5	6.6%
家事や子育てを両立がしにくい	10	13.2%
その他	1	1.3%

問28-15 その他記述

月5日しか休みがない
福利厚生面が悪い

問29 今後の仕事についてどのように考えていますか。お気持ちにもっとも近いもの1つだけに○をつけてください。

	実数	%
今の仕事を続けたい	42	55.3%
仕事を変えたい	10	13.2%
勤め先をかえたい	7	9.2%
常勤の仕事にかわりたい	5	6.6%
パートの仕事にかわりたい	0	0.0%
自営にしたい	2	2.6%
仕事を辞めたい	0	0.0%
その他	3	3.9%
無回答	3	3.9%
非該当	4	5.3%
合計	76	100.0%

悩みや不安はあるが
転職は避けたい、回答者が多い。

問 29-8 その他記述

分からない
今はこの時間で仕事するしかない
もっと大きくしたい

問30～問31は「働いていない」と回答した方だけお答え下さい。

問30 問29で「働いていない」と回答した方におたずねします。

仕事についていない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい(○はいくつでも)。

問30 仕事に就いてない理由 ※母数は仕事をしてい
(問22) 4

	実数	%
子供の面倒	1	25.0%
保育所が見つからない	0	0.0%
病気など健康上の理由で	3	75.0%
親や病人の世話・介護のため	0	0.0%
仕事が見つからないため	1	25.0%
働かなくても生活できるため	0	0.0%
その他	1	25.0%

問30-7 仕事に就いてない理由その他記述

生活保護受給

問31 あなたは今後、仕事につきたいと思いますか。

	実数	%
今、仕事を探している。	0	0.0%
そのうち仕事に就きたい	1	25.0%
できれば仕事をしたくない	0	0.0%
仕事に就くつもりはない	0	0.0%
今のところわからない	1	25.0%
無回答	3	
非該当	72	

問32 ここからは、すべての方におたずねします。

あなたは、学校を卒業された後、仕事をしていましたか(アルバイト等は除く)

	実数	%
していた	72	94.7%
していない	0	0.0%
無回答	4	5.3%
合計	76	100.0%

問33 ひとり親家庭となった後、仕事上の変化はありましたか?(○は1つ)

	実数	%
変化はなかった	45	59.2%
新たな仕事をし始めた	25	32.9%
新たに見つけて仕事を始めたが、現在はしていない	1	1.3%
仕事はしていない	1	1.3%
無回答	4	5.3%
合計	76	100.0%

問34 これまでの経験から、ひとり親家庭の親が仕事を探す時の難しさは何でしたか。仕事を見つけるのに、困ったこと(子ども・資格・就労条件など)について自由に記入してください。

子供の食事を作るため、(朝、夕)の時間を確保するのに探す職の選択がかぎられてくるので大変でした。
子どもの面倒を見るための時間が必要な為、正社員で働いていても時間のゆう通をきいてくれる環境をつくるのが大変だった。離婚してまもない頃の子どもの心のケアとの仕事、自分のモチベーションのコントロールが大変だった。
未就学学児等～小学低学年まで急な迎え等、その他母子に比べて10分の1程しか行政から手助けがない職安で訓練等を受けたとしても、学校側もとうてい無理が現実の仕事探しでした
自営で特になし
就労条件(時間、休日等)
勤務時間
交替勤務から昼の勤務に変更して欲しい
今は年齢が問題でなかなか理想の会社に入れない。又は求人が無い
夜勤ができない(日勤だけの時間しか働けない 8:30～17:00程度)
子どもが小さい時の残業は厳しいと感じた
調理師のため(サービス業)土・日・休日の仕事が少ない 収入がなくても子供と一緒に時間を優先したいけど学費には掛けられない
理解
収入が欲しいが、残業休出等が難しく仕事を変えた
仕事をしていたので分かりませんが休みの取得しやすさかと考えます
両親と同居しているので様々なフォローはしてもらえますが、できるだけ両親に頼らず子供のことは責任をもって自分がやっているのに対して残業があったり、時間を気にせず打ち込む事ができず、早く帰れない仕事を選んだ為、給料も少なくなっている。
子どもが小さいうちは体調不良が多く休みがちで、離婚当初の職場はクビに。そんなことがあった後なので、次もそうなるじゃないかと、なかなか次に踏み出せなかった。
条件のいい職場があっても子どもたちのため、引っ越しできない 8:00～17:00の仕事でないとなかなかうまくいかなかった
交代勤務(夜勤)のない仕事を探した
年齢
子どもの時間にあつた仕事を探すこと
私の場合は、親のサポート(放課後、帰宅後)という事から、条件的には就職活動には大きな影響はありませんでした。
新しい仕事はすぐに見つかったが、1人親になって今までの仕事が長時間労働、休日出勤、宿直等があったため、続けることができなくなり、やむなく退職して他県の実家に帰った。
今のところ、十分な健康状態ではないので、仕事のことは考えていない。

子どもが特に低学年の場合、放課後や長い学校の休みのときなどの世話をしてくれる人がいないと、仕事を探す難しさがある。
理解ある環境
ふつうは、奥さんがパートで時間に融通もきくから子どもの参観などでも行けるが、男はなかなかむずかしい。
子どもの学校行事等に出席できない。
小学校・保育園の行事に合わせて仕事を休まないといけない

家計の状況についておたずねします。

問35 あなたの家計(収入)について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

	実数
給料収入	70
家族の収入	7
家賃・利子収入	0
年金収入	5
児童扶養手当	46
仕送り	1
養育費	2
生活保護	3
その他	4

児童手当
障害者年金(3級)
親と同居しているので…

問 36 あなたの家庭の収入(総支給額)は、どのくらいですか。(収入のある方すべて、給与等以外の児童扶養手当、養育費等を含めた合計でお答えください)

	実数	%
150万円未満	3	3.9%
150万円～200万円未満	9	11.8%
200万円～250万円未満	12	15.8%
250万円～300万円未満	16	21.1%
300万円～350万円	10	13.2%
350万円～400万円	9	11.8%
400万円～450万円	7	9.2%
450万円～500万円	5	6.6%
500万円以上	3	3.9%
無回答	2	2.6%
合計	76	100.0%

300万未満が多い
正社員でも年収が低い

問37 現在、借りている公的資金はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	実数	%
生活資金	3	3.9%
就学資金	3	3.9%
事業資金	6	7.9%
住宅資金	13	17.1%
その他	0	0.0%
借りている公的資金はない	52	68.4%
計	77	

住宅ローンの返済が重荷

問38 あなたが現在、加入している年金は次のどれですか。

	実数	%
1.国民年金	24	31.6%
2.厚生年金	50	65.8%
3.共済年金	1	1.3%
4.その他の年金	0	0.0%
5.未加入	0	0.0%
90.無回答	1	1.3%
合計	76	100.0%

問39 あなたが現在、加入している健康保険は次のどれですか。

	実数	%
1.国民健康保険	24	31.6%
2.共済・社会保険	50	65.8%
3.その他の健康保険	0	0.0%
4.未加入	1	1.3%
5.医療	0	0.0%
90.無回答	1	1.3%
合計	76	100.0%

正社員の 49 人と厚生年金社会保険の 50 人とほぼ一致

さまざまな支援等についておたずねします。

問40 ひとり親家庭が生活の安定と向上を図り、自立した生活を営むための支援として、あなたが特に重要だと考えるものは何ですか？（○は主なもの3つまで）

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 相談受付機能の充実 | 2. 講習会などの情報提供機能の充実 |
| 3. 多様な子育てサービスの提供 | 4. ひとり親の子ども達への学習支援 |
| 5. 養育費確保に向けた支援の促進 | 6. 父子家庭の親たちの集いの場 |
| 7. 手当・助成などの経済的な支援 | 8. 貸付制度の充実 |
| 9. 父子家庭のネットワーク作り | 10. 就業に向けた能力開発の促進 |
| 11. 就業機会の創出 | 12. 市と県や民間企業・団体との連携強化 |
| 13. 身近な地域支援活動の充実 | |
| 14. その他(具体的に:) | |
| 15. わからない、思いつかない | |

問40-1 重要だと考える相談や情報提供の内容はどのような分野に関するものですか？（○は主なもの3つまで）

- | | | | |
|------------|--------------|---------|------------|
| 1. 就労・労働関係 | 2. 就職・職業能力関係 | 3. 教育関係 | 4. 子育て関係 |
| 5. 住宅関係 | 6. 学費・奨学金 | 7. 養育費 | 8. 健康・医療関係 |

	実数	%
1.相談受付事業	17	22.4%
2.講習会などの情報提供	3	3.9%
3.多様な子育てサービス	9	11.8%
4.子供たちへの学習支援	21	27.6%
5.養育費確保に向けた支援	14	18.4%
6.父子家庭親たちの集いの場	4	5.3%
7.手当・助成	47	61.8%
8.貸付制度	15	19.7%
9.ネットワークづくり	9	11.8%
10.能力開発	1	1.3%
11.就業機会の創出	9	11.8%
12.連携強化	3	3.9%
13.身近な地域支援活動	3	3.9%
14.その他	2	2.6%
15.わからない、思いつかない	8	10.5%

- 1、手当て助成
- 2、学習支援
- 3、相談
- 4、貸付制度
- 5、養育費支援
- 6、ネットワーク
- 6、子育てサービス
- 6、就業機会の創出

問 40SQ1 - 1	実数
就労・労働関係	15
就職・職業能力関係	4
教育関係	7
子育て関係	22
住宅関係	5
学費・就学金	24
養育費	12
健康・医療関係	15

- 1、学費・就学費
- 2、子育て関係
- 3、就労・労働関係
- 3、健康・医療関係
- 4、養育費
- 5、教育関係

問41 次の制度等を利用、受給されたことがありますか。①～⑨のそれぞれについて、該当する番号を○で囲んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

	1 利用・受給 して いる 利用・受給した ことがある	利用・受給した事が無い		
		2 制度を知らな かった	3 利用・受給の資 格がない	4 その他 知っているが 必要が無い
① 児童扶養手当 18歳に達する最初の3月31日までの子どもがいる母子家庭等に支給(所得制限有)	67	1	2	0
② 交通遺児等福祉手当 義務教育中の子どもの父母等が、交通事故により、死亡・一定の障害の状態となった場合に支給(所得制限有)	0	18	29	13
③ 遺児等福祉手当 義務教育中の子どもの父母等が、病気等により死亡・一定の障害の状態となった場合に支給(所得制限有) 子ども1人につき月額10,000円の手当のほか、援護金を支給	0	22	26	13
④ 母子家庭等医療費助成制度 母子家庭の母と子・父子家庭の父と子等にかかる医療費を助成(所得制限有)	28	15	17	5
⑤ 母子家庭等日常生活支援事業 母子家庭の母・父子家庭の父が病気等で子どもを養育等できない場合、家庭生活支援員を派遣	1	37	16	6
⑥ 母子家庭等就業・自立支援センター 母子家庭及び父子家庭に対する職業相談や無料職業紹介等の就労支援及び生活相談、養育費相談等を実施	0	32	9	19
⑦ 自立支援教育訓練給付金事業 母子家庭の母、父子家庭の父が、資格取得のため、指定講座を受講する場合、その受講費用について20%を上限に補助(所得制限有)	0	37	7	17
⑧ 高等技能訓練促進費事業 母子家庭の母、父子家庭の父が、看護師、介護福祉士等指定の資格取得のため養成機関で2年以上修業する場合、訓練促進費等を支給(所得制限有)	0	42	7	12
⑨ 子育て支援短期利用事業 病気・出産・事故などで一時的に児童の養育が困難になる場合、児童養護施設などにおいて一時的に児童を保護	0	38	13	10

現在のあなたの生活や考えておられることについてうかがいます。

問 42 あなた自身の健康状態はどうか。近いもの1つに○をつけて下さい(○は1つ)

	実数	%
1.健康である	47	61.8%
2.通院していないが体調が悪い	10	13.2%
3.通院している	18	23.7%
90.無回答	1	1.3%
合計	76	100.0%

健康に問題がある回答者が36%

問 43 あなたは、現在、次のような人たちとどれぐらい交流がありますか？それぞれあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

【子どもの保育園・学校など子どもを通した知り合い・友人】

問 43	実数	%
1.ほとんど付き合いはない	18	23.7%
2.あいさつをする程度	26	34.2%
3.立ち話をする程度	20	26.3%
4.一緒に出かけたり食事したりする	5	6.6%
5.お互いの家を行き来する	5	6.6%
90.無回答	2	2.6%
合計	76	100.0%

【職場の同僚・友人】

問 43	実数	%
1.ほとんど付き合いはない	8	10.5%
2.あいさつをする程度	8	10.5%
3.立ち話をする程度	28	36.8%
4.一緒に出かけたり食事したりする	24	31.6%
5.お互いの家を行き来する	4	5.3%
90.無回答	4	5.3%
合計	76	100.0%

【高校・大学時代の友人】

問 43	実数	%
1.ほとんど付き合いはない	34	44.7%
2.あいさつをする程度	3	3.9%
3.立ち話をする程度	8	10.5%
4.一緒に出かけたり食事したりする	18	23.7%
5.お互いの家を行き来する	9	11.8%
90.無回答	4	5.3%
合計	76	100.0%

【ひとり親の仲間・友人】

問 43	実数	%
1.ほとんど付き合いはない	52	68.4%
2.あいさつをする程度	6	7.9%
3.立ち話をする程度	6	7.9%
4.一緒に出かけたり食事したりする	6	7.9%
5.お互いの家を行き来する	2	2.6%
90.無回答	4	5.3%
合計	76	100.0%

問 44 あなたは現在の生活に満足していますか？

問 44	実数	%
1.とても満足している	4	5.3%
2.まあ満足している	26	34.2%
3.満足していない	31	40.8%
4.どちらともいえない	14	18.4%
90.無回答	1	1.3%
合計	76	100.0%

問45 あなたは、今後の生活に対し、不安を感じますか(経済的・子育て等)
それぞれについて1つずつ○をつけて下さい。

【家計】

問 45 家計	実数	%
1.感じる	50	65.8%
2.やや感じる	22	28.9%
3.感じない	3	3.9%
4.わからない	0	0.0%
90.無回答	1	1.3%
合計	76	100.0%

【子育て】

問 45 子育て	実数	%
1.感じる	31	40.8%
2.やや感じる	29	38.2%
3.感じない	13	17.1%
4.わからない	2	2.6%
90.無回答	1	1.3%
合計	76	100.0%

【仕事】

問 45 仕事	実数	%
1.感じる	39	51.3%
2.やや感じる	24	31.6%
3.感じない	11	14.5%
4.わからない	1	1.3%
90.無回答	1	1.3%
合計	76	100.0%

問46 あなたの現在のお気持ちに近いものに○をつけてください。次のア～コそれぞれについて、あて はまる番号1つずつに○をつけてください。

	1	2	3	4	5
	あてはまる	ややあてはまる	まあまああてはまる	あてはまらない	わからない
ア 現在、自分の生活は充実している	5人	29人	20人	19人	1人
イ 働いても働いても生活が楽にならない	32人	18人	12人	9人	1人
ウ 仕事と子育てと精一杯で、心身ともに余裕がない	21人	28人	10人	10人	4人
エ 将来に希望をもっている	9人	23人	17人	22人	2人
オ どこまでがんばればよいかわからない	17人	23人	14人	13人	7人
カ いろんなプレッシャーに、押しつぶされそうな気持ちになる	13人	26人	15人	18人	2人
キ ありのままの自分を認めてくれる人がいる	12人	25人	12人	18人	4人
ク いつもまわりの人の目が気になる	5人	13人	26人	23人	4人
ケ ひとり親として自信を持って生きている	21人	18人	20人	8人	4人
コ 今の生活はつらいことのほうが多い	13人	15人	23人	16人	4人

問 47 あなたはひとり親家庭であるために社会的な偏見を感じたことがありますか。

1.ある 9人 2.ない 58人



SQ1 どんな時に社会的な偏見を感じますか？

- ・必要以上に心配される
- ・常に
- ・子供の参観会とか
- ・就職
- ・学校の参観会など
- ・近所づきあいで浮いているとき
- ・離婚の原因についての偏見
- ・学校行事に参加する時
- ・仕事で子どもの送り迎えがある分、いろいろ制限されてくるが、それに対してあいつは残業できないから使えないような立ち回りになっている

問 48 ご自身のご経験から、他のひとり親家庭の参考になりそうなことがございましたら、またその他、悩みや不安、必要と感じる支援等がありましたらご自由にお書きください。

- 娘がいるので、生理のこととか、男親でなかなか教えてあげられないことが今一番の悩み。
- フルタイムで働けない。
- 男は国の手当が少ない。
- 仕事と学校行事が重なり、子どもにさびしい思いをさせた。
- また行政など手続きや、銀行などでの手続きなども仕事をしている時間帯しか受け入れられない為、生活するだけでも疲れてしまう。
- もう少し綿密なプライベート、貯蓄、資産、親族等の介入 etc な部分での審査が行政にあると良いと思います。
- 急をよようする自動保護の観点からは早急が望ましいと思いますが、審査は必要だと思います。
- 現在では、ネット等スマホなど使えば、情報は得られます。
- 出来る事と出来ない現実をどうめるかだと思います。
- 義務教育までの支援を拡張して欲しい。
- 父子家庭の父親でも安心して収入を得られる会社(求人)のあっせんが欲しい。
- 給料が少なく、生活が苦しくて毎月々大変です。生活が成立しません。
- 生活のために働いて頑張っているのに所得制限で児童扶養手当をもらえない制度は何とかして欲しい(必ず支給する制度にしてほしい)。
- 一番困っていることは料理です。教えてもらうことができない環境なので(両親いない、相談する親族がいない)洗濯、掃除はなんとか出来るんですが料理は苦手なので…
- 料理教室を無料で教えてもらえる制度があれば嬉しいです。
- 学校行事への参加や、役員は仕事を優先させないといけない状況では難しい。
- ひとり親は、学校の役員等は免除していただく等、特別に配慮していただかないとストレスがたまります(好きな人は別ですが)又、学校で行う「命の授業」等、逆に子どもに対し寂しい思いをさせてしまうようで、ちょっと考えて欲しいと思う。
- 今、子供は不登校・起立性調節障害・うつ。何故うちの子が、うちの子だけが！その原因は自分のせいだろうか？
- 高校に行けるだろうか？仕事にあげつけられるだろうか？将来幸せな家庭を築けるだろうか？
- 父子家庭は自分も子供も自分で決めた事、後悔はしていないと思う。
- 保育料の免除。
- 児童扶養手当・医療助成制度の拡大。
- 子供の本心(本当は母親がいいのではと不安に感じる時がある)。
- 父子家庭でも「子供がかわいそう」と思って育ててはいけないと思う。
- 保育園等で母子家庭が多いので父に日は行わなかったりするが母の日はおかまいなし。
- ひとりでがんばりすぎず頼れる人には頼ることが必要。
- 金銭的援助、手当の充実。所得制限をもっとゆるくしてもらいたい。保育料が高い。
- 地域・PTA と子ども両親を対象に人数分の役割分担を要請してくる。つまり、父親として及び母親の役割分も1家庭として要求してくる。そのため、休む暇がない。順番だから(存在しない)母親の分も担当してくれと言われることが多い。
- <不満> 不要手続書類が何度も何度も同じような書類で面倒。「お役所」仕事を感じる。手続きのために休みを取らなければならない
- 自分の場合は親の手助けがないと働きながら子育てをしていくことはできないと思っているので、逆に父親1人で頑張っている人はすごいと思う。
- 児童扶養手当について市役所へ足を運び、危機に行ったが、対応、説明が悪く、自分は受け取れないと思って帰ってきた。最近になって東区役所へ行き、相談したところ、親切丁寧に教えてくれて受け取ることができるようになった。3~4年間分損した。所得についてのとらえ方、気を付けて、しっかり教えてもらうとよい。
- 経済的援助をしてほしい
- 情報(公的助成や制度)が届きにくい。市町村からの発信をもっとしてほしい。
- 学童の時間を18:00ではなく18:30ぐらいにしてほしい

問 49 父子家庭のネットワークについてあなたが考えることや希望することは何かありますか。

- 自分の近くに、または同じ学校の子供の中に同じような父子家庭の人と話せたりするといいなあとと思います。
- ネットワーク自体のありようについてイメージしにくい。
- このような機会をいただきまして感謝します。憲法にある平等とは程違う現実が母子とは多々あります。不当に法行政がプライバシーに入れないのを逆手にとり就労をかぎり受給された方々を多々見受けられます。
- 当事者として己に責任を持ち至らぬ部分を世間様に助けていただいているという人の気持ちを胸に頑張ってまいります。
- 自分自身も強くなり後に続く苦しむ人の為に何かお手伝い出来たらと想っています。
- 市の扱うホームページなどで取り上げて欲しい。
- 仕事(会社)の情報や教育に関する補助制度について知りたい。
- 父子家庭のネットワーク相談できる場を作って欲しい(父子家庭の友達を作りたい)。
- 料理教室の場を提供して欲しい。
- 児童扶養手当の所得制限で手当をもらえないのはおかしい(生活が苦しいので手当を必ず支給して欲しい)
- 父子家庭の人はすごく大変だと思うので、支援できる制度は教えてもらいたい。まだ知らない事が多いので
- 男性は女性ほど利用しないと思います
- まず仕事、収入を安定させる事を考えると思います
- 不安・話し相手はいない人もいると思う
- 父子家庭どうしの交流の場
- 情報・意見交換の行えるネットワーク
- 探せば見つかるようになっていけばいいと思う
- 頼りたい人がすぐに見つかるような形で。
- 父子家庭のネットワークがまったく浸透していない。もっとおおよけの場に出れば活用してみたいと思う。
- 父子家庭におけるネットワークがあるのなら、その存在をもっと公に紹介して欲しい
- 父子家庭の認知度が低いと感じる。(母子家庭の認知度はある程度あるが)もっと現状を分かってもらえる様な場面がほしい
- 新しい嫁さんを見つける出会いの場
- 大変よい活動だと思います。このアンケートを生かしてぜひ頑張ってください。ありがとうございます。
- 利用したことがないからわからない

質問は以上です。お忙しいところ、ご回答いただきまして、ありがとうございました。

